



NKE

設定ソフト取扱説明書

UNC-RP42(A)
AUTO MESSENGER れんら君

Ver.1.2

本製品を安全に正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。
また、本書を大切に保管され保守、点検時にご活用ください。

NKE株式会社

EUNCRP42-804B

取扱説明書変更履歴

バージョン	日付	変更内容
EUNCRP42-804A (V-1.1)	2017.04.12	リリース初版
EUNCRP42-804B (V-1.2)	2017.12.08	『Update許可』メニューの削除 『日時修正』メニューの追加

ご注意

- 本書の内容に関しましては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しまして誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社までお知らせください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

安全にまた正しくお使いいただくために

注意

- 本製品は必ず仕様範囲内でお使いください。
- 配線作業を行うときは必ず電源を切ってください。
- 本製品標準型である端子台型と接続する電源はDC24V安定化電源をご使用ください。
- LAN伝送ラインや入出力ラインは高圧線や動力線と離してご使用ください。
- 誤配線はトラブルの原因となります。接続用端子の信号表示にあわせて接続してください。
- 静電気や衝撃などに十分注意してお取り扱いください。
- 本製品は宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。

保証について

本製品の保証は日本国内で使用する場合に限ります。

- 保証期間

納入品の保証期間は納入後1ヶ年とします。

- 保証範囲

上記保証期間中に本取扱説明書に従った製品使用範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の範囲から除外させていただきます。

- (1) お客様の不適切な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因がお客様の事由による場合。
- (3) お客様の改造または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害等で納入者の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

- 有償修理

保証期間後の調査及び修理は全て有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障の修理及び故障の原因調査（保証範囲の場合を除く）は有償にてお受け致します。修理に関するご依頼はお買い上げの販売店にお申しつけください。

- 部品のご注文、お問い合わせ

製品の故障、部品のご注文、その他お問い合わせの節は、次の事項をお買い上げの販売店まで詳しくご連絡ください。

- (1) 型式
- (2) 製造ロット番号
- (3) 不具合の内容、配線図等

目次

取扱説明書変更履歴.....	2
1 概要.....	7
2 動作環境.....	7
2-1 データ通信に使用しているパソコンのポート番号.....	7
3 れんら君管理ツール.....	8
4 れんら君設定画面.....	12
5 れんら君の設定を行う.....	13
5-1 れんら君設定画面を表示させます.....	13
5-2 ユニット定時動作条件設定.....	14
5-2-1 平均化処理種別の選択と関連パラメータ設定.....	15
5-2-2 Channel 測定・定時通報 E-Mail 動作可否と関連パラメータ設定.....	17
5-2-3 定時 Event 通報 E-Mail 登録.....	18
5-3 ユニット監視通報動作条件設定.....	19
5-3-1 監視 Analog Channel 選択.....	20
5-3-2 監視要因選択.....	20
5-3-3 監視 Event 成立時発行 E-Mail 登録.....	21
5-3-4 接点機能選択.....	22
5-4 ネットワークパラメータ設定.....	23
5-5 日時修正.....	24
5-6 E-MAIL パラメータ設定(SMTP).....	25
5-7 E-MAIL パラメータ設定(POP3).....	26
5-7-1 メーカーを使用して POP 受信する.....	26
5-8 E-MAIL TEST 発行.....	31
5-9 機器保守情報設定.....	32
5-10 れんら君 MAIL モニタ.....	33
6 コマンドメール機能.....	34
6-1 コマンドメール機能について.....	34
6-2 コマンドメールの作成方法.....	35
6-2-1 コマンドメールのフォーマット.....	35
6-3 コマンド説明.....	37
6-4 エラーメッセージ.....	41
7 れんら君管理ツール詳細.....	42
7-1 ファイルメニュー.....	42
7-1-1 アクセスパスワードの設定.....	42
7-1-2 監視条件の書込み.....	42
7-1-3 EVENT 通知 E-MAIL の書込み.....	42

7-1-4 Network 情報の読出し	43
7-1-5 監視条件の読出し	43
7-1-6 EVENT 通知 E-MAIL の読出し	43
7-1-7 Firmware 更新	44
7-2 ユニット動作表示	45
7-2-1 接続・モニタ(開始/停止)	45
7-2-2 モニタ情報保存	46
7-2-3 ユニット状態読み出し	46
7-2-4 EVENT 監視(開始/停止)	46
7-2-5 ユニット再起動	46
7-2-6 ユニット登録メール一覧	46
7-2-7 ユニット登録メール読み出し	47
7-2-8 ユニット登録メール全削除	47
7-2-9 Analog れんら君測定データ読み出し	47
8 れんら君探索	48
8-1-1 呼び出し	48
8-1-2 応答一覧表示	48
8-1-3 NIC 情報表示	48
8-1-4 ブラウザ	48
8-2 ヘルプ	49
8-2-1 ヘルプ	49
8-2-2 バージョン情報	49
9 れんら君に接続できないときには	50
9-1 症状別チェックリスト	50

1 概要

れんら君 UNC-RP42(A)は、アナログ入力チャンネルを2つ備えています。仕様により 0-20mA 電流入力、0-5V 電圧入力、0-10V 電圧入力の3機種がラインアップされています。

アナログデータを定期的に取り込み、設定された時間間隔でメール送信を行います。そのとき、アナログデータはCSV形式でメールに添付ファイルとして同送されます。

異常値設定をすることができます。しきい値を設定し、しきい値を超えたアナログ値を検出するとそのタイミングでメールを送信します。

- ・ れんら君は Ethernet を経由してパソコンから通知メールの設定やれんら君の設定内容の参照、および更新ができます。
- ・ フリーメールの Hotmail や Gmail には対応していません。

2 動作環境

ブラウザ HTML5 に対応しているもの

推奨 : Firefox, Internet Explorer

LAN カード Ethernet : Version 2.0 / IEEE 802.3 準拠の 10BASE-T, 100BASE-TX に対応しているもの

注意1 : パソコンのブラウザかられんら君を設定しますが、れんら君とのデータ通信にポート 69, 9998, 30719, 30720 の番号を使用します。ファイアウォール等のセキュリティ設定で上記のポートの使用に制限をかけると正常に動作しなくなりますので、上記のポート番号は使用可になるように設定してください。

本設定ソフトならびにれんら君は IPv6 に対応していません。必ず IPv4 の環境でお使いください。

2-1 データ通信に使用しているパソコンのポート番号

れんら君が使用しているパソコンのポート番号は次のとおりです。ファイアウォール等で通信が遮断されないようにそれぞれのセキュリティソフトの設定を行ってください。

使用ポート番号 : 69, 9998, 30719, 30720

3 れんら君管理ツール

れんら君の設定を行う際には、れんら君の IP アドレスを指定してれんら君にアクセスする必要があります。しかし、れんら君は工場出荷時の設定では DHCP 対応になっており、ユーザー環境によって IP アドレスが変わります。そこで、LAN 上のれんら君を検出するアプリ (renrakun.exe) が用意されていますので、それを使ってれんら君を検出し、アクセスします。



注意

弊社ホームページから最新バージョンの設定アプリを無料でダウンロード頂けますので、以下の URL からバージョンをご確認いただき、最新のをダウンロードして下さい。

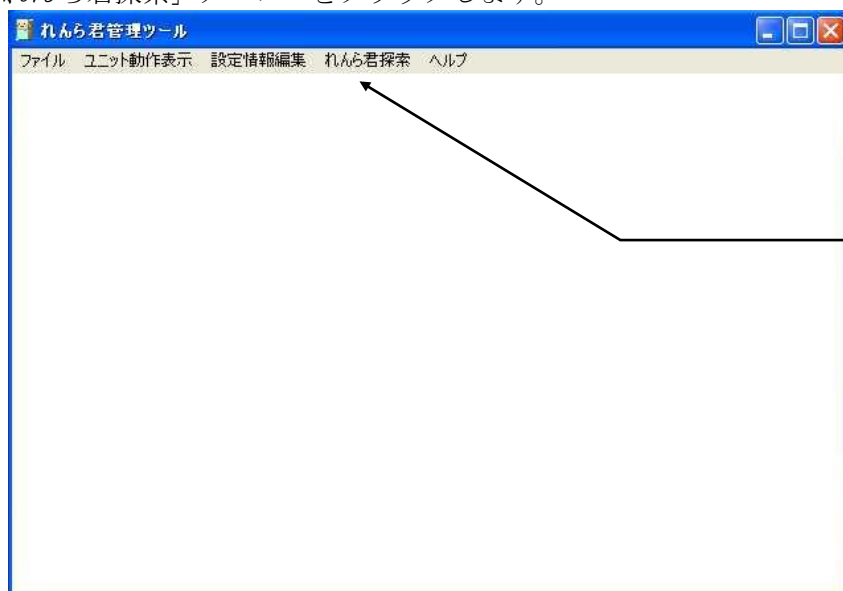
(ダウンロードはこちらから → http://www.nke.co.jp/product/n_index.html)

[1] ダウンロードしたれんら君管理ツール



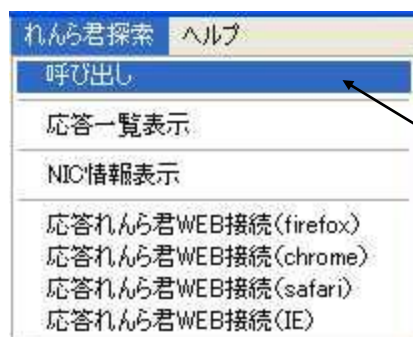
をダブルクリックして実行します。

[2] 「れんら君探索」メニューをクリックします。



「れんら君探索」をクリックします。

[3] 「呼び出し」をクリックします。



「呼び出し」をクリックします。

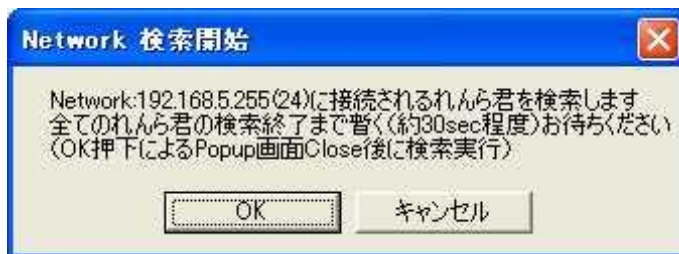
[4] れんら君管理ツールを起動しているパソコンの IP アドレスが一覧表示されます。



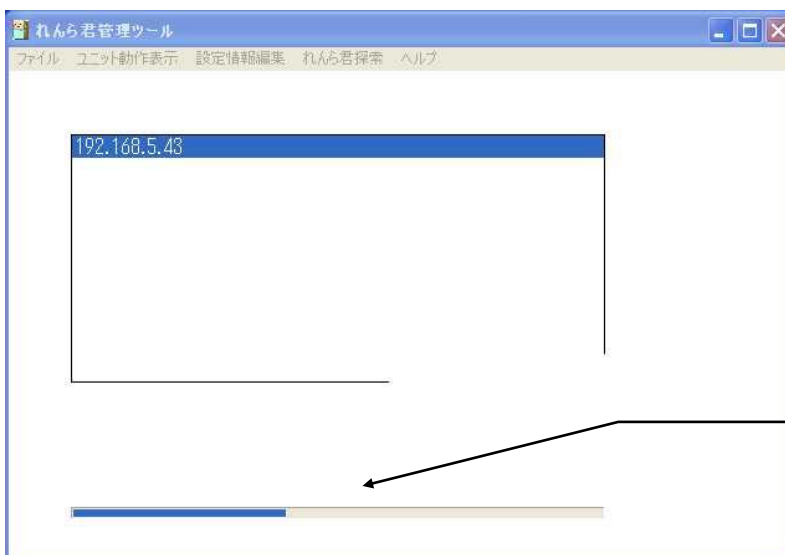
IP アドレスをクリックします。

パソコンに複数の IP アドレスの登録があると、その数だけ IP アドレスが表示されます。そのときは、れんら君と同じネットワークにある IP アドレスをクリックします。

[5] リックするとれんら君の検索が始まります。

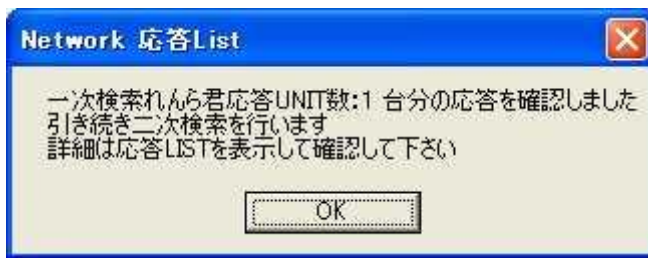


[6] 検索が始まるとインジケータが出現します。



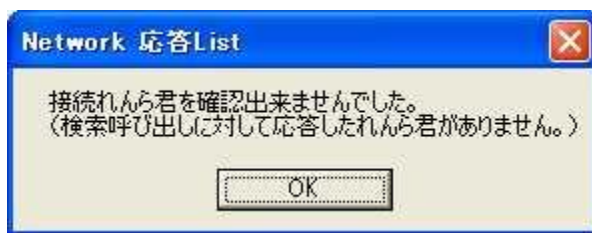
検索の進捗を示すインジケータ

[7] れんら君が見つかる次のような画面が出てきます。



この例では1台のれんら君が検索できました。他にもれんら君があるか引き続き検索を行うために「OK」をクリックします。

もしも、れんら君が検索できなかったら次のような画面が出てきます。



この表示のときは、れんら君がLANに接続されているか、電源が入っているか等をご確認してください。

[8] れんら君の検索が終了すると次のような画面が出てきます。



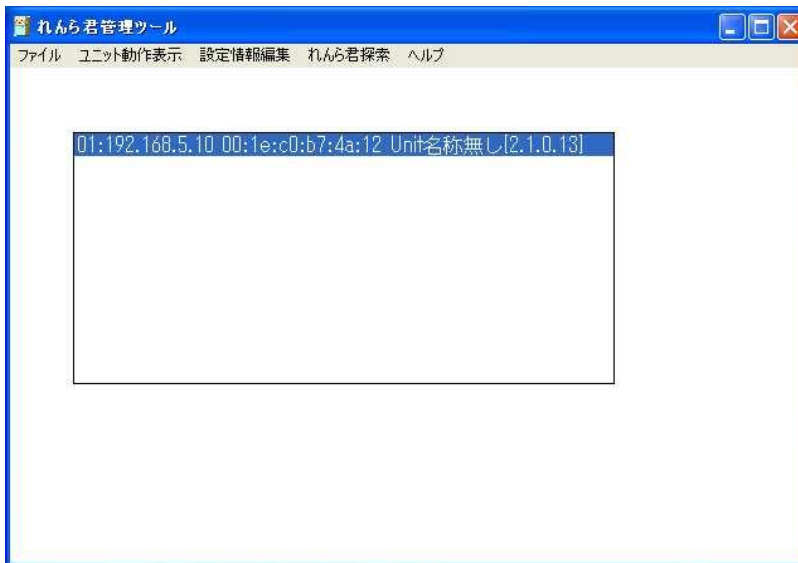
「OK」をクリックし、検索作業を終了します。

[9] 「れんら君探索」メニューをクリックし、「応答一覧表示」をクリックします。



「応答一覧表示」をクリックする。

[10] 検索されたれんら君が一覧表示されます。



上図の例では、IPアドレス「192.168.5.10」、MACアドレス「00:1e:c0:b7:4a:12」、ユニット名「ユニット名無し」のれんら君が見つかりました。設定を行うれんら君をクリックして選択してください。そして、次の項目に進みます。

[11] れんら君を選択し、れんら君設定画面を開きます。

「れんら君探索」メニューをクリックし、「応答れんら君WEB接続」をクリックします。



ここでは「chrome」を選択しています。お使いのパソコンによりインストールされているブラウザは違うと思われます。表示されている4種類の中から、パソコンにインストールされていて使いたいブラウザをクリックしてください。弊社がお勧めするのは「Firefox」になります。もしもここに無いブラウザをお使いでしたら、そのブラウザのURL欄にれんら君のIPアドレスを入力してください。れんら君にアクセスできます。

しばらくすると、れんら君設定画面が開きます。

4 れんら君設定画面

設定画面は場合によっては表示内容、表示項目に若干差異が生じます。



① 概要	お使いのれんら君の型式や、ファームウェアのビルド日時を確認できます。
② ユニット定時動作条件設定	データの収集時間間隔の設定、メール送信時間間隔の設定、収集データの平均化処理の設定等を行います。
③ ユニット監視通報条件設定	異常値の設定や、異常値を検出した時のメール送信設定等を行います。
④ ネットワークパラメータ設定	IP アドレスの手動設定や DHCP の設定を行います。
⑤ 日時修正	日時の設定を行います。
⑥ E-Mail パラメータ設定	メール送受信設定を行います。
⑦ E-Mail テスト発行	設定が正しく出来ているかどうかテストメールを送信して確かめることが出来ます。
⑧ 機器保守情報設定	コマンドメールのユーザー名やパスワードの設定やれんら君管理ツールとの接続、ファームウェア更新実行を行います。
⑨ れんら君 Mail モニタ	れんら君がメール送受信しているときの動作状態をれんら君管理ツールでモニタするための設定をします。また、れんら君管理ツールを使用したアナログデータのモニタの設定も行います。

5 れんら君の設定を行う

5-1 れんら君設定画面を表示させます

注意

れんら君の IP アドレスが固定されていたら、その IP アドレスを直接ブラウザのアドレス入力欄に入力するとれんら君設定画面が開きます。れんら君の IP アドレスがわからない場合は、れんら君管理ツールを使用してれんら君を検索してください。



れんら君を使用するために必要な設定は「ユニット定時動作条件設定」と「E-Mail パラメータ設定」です。「ユニット定時動作条件設定」はれんら君がメールを送信する動作条件等の設定、「E-Mail パラメータ設定」は E-Mail を使うためにメールサーバーの設定を行います。

れんら君にはセキュリティが設定されておりアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。セキュリティ・認証画面はブラウザにより異なります。



ユーザー名 : root

パスワード : root

を入力し、「OK」ボタンを押します。

セキュリティの変更は「メンテナンスパラメータ設定」で行います。

5-2 ユニット定時動作条件設定

れんら君はアナログデータを取得してアナログデータの平均化処理を行い、また、取得データを CSV 添付ファイルとして定期的にメール送信を行うことができます。入力チャンネルは単独で機能しますので Channel100：チャンネル 0、Channel101：チャンネル 1、別々に設定します。

左の列にある「ユニット定時動作条件設定」をクリックして設定を行います。



ユニット定時動作条件設定

平均化処理種別の選択パラメータ設定によりアナログチャンネル毎の平均化処理種別の選択、各平均化処理の設定パラメータ、及び取得データのスケールリング実行可否とそのパラメータの設定を行う

Channel測定・定時通報パラメータ設定により登録メールを使用して下記の定時通報が行える

- ・指定間隔で測定データを定時通報
- ・指定間隔で測定平均除外データとユニット監視通報で設定した条件による上・下限条件検出測定値を定時通報

(Channel選択を除き、マウスカーソルを項目強調文字上でシングルクリックさせると詳細を表示/非表示)

設定Analog Channel選択: Channel00

平均化処理種別の選択 (Default: 単純平均[回数]) と関連パラメータ設定

Channel測定・定時通報E-Mail動作可否と関連パラメータ設定

Set : 設定データの登録

Load : 設定データの読み出し

Erase Flash-ROM内の定時通報Event通知E-MAIL全削除

収集データのメール送信間隔で定時Event通報E-MAILを登録

[定時Event通報E-Mail登録](#)

[監視Event E-Mail登録一覧表示](#)

設定 Analog Channel 選択

設定するアナログチャンネルを選択します。

Channel100：チャンネル 0 Channel101：チャンネル 1

平均化処理種別の選択と関連パラメータ設定

平均化処理の種別選択やスケールリング可否の選択などアナログデータの扱いの設定です。

Channel 測定・定時通報 E-Mail 動作可否と関連パラメータ設定

定時通報メールのデータ収集間隔の設定、メール送信間隔の設定等を行います。

定時 Event 通報 E-Mail 登録

set した条件で送信される E-Mail 内容を設定します。クリックすると E-Mail 設定画面が出てきます。

監視 Event E-Mail 登録一覧表示

各イベントで何通のメールが登録されているのか確認できます。

Set
入力した設定情報を登録します。

Load
登録内容を読み出します。
登録内容の変更や設定を行うときは登録内容を読み出してから行ってください。

Erase
れんら君に書き込まれているメールデータを一括削除します。

5-2-1 平均化処理種別の選択と関連パラメータ設定

平均化処理種別の選択(Default:単純平均[回数])と関連パラメータ設定
(下記の選択した平均化条件により平均したデータが逐次収集される)

- 単純平均(回数)
平均化の回数入力(256max.):
- 単純平均(時間)
平均化の時間幅入力:
(「1」sec単位で60分「3600」max.)
- 移動平均
平均化の移動回数入力(max.128):
- Raw DATA
平均処理を行わず入力値をそのまま取り込む

スケーリング可否の選択(データを任意の値に換算;チェックマークで実行無し)
スケーリング実行時のパラメータ設定(「0」は該当フィールド未使用)
下限値(32767 ~ -32768) ;「0」に対するスケール変換割当て値
上限値(32767 ~ -32768) ;「max.」に対するスケール変換割当て値
単位呼称(max. 18文字) 「変換値」の単位呼称「Default単位(シャドウ表示)」
ADC「1」カウント辺りのスケール換算値 (0.0012 V)

異常値除外:チェックで無効
上記平均化処理1~3、4.Raw DATA取り込みで下記の設定範囲を平均処理・取り込みから省く
(下記入力フィールドでは括弧付きでスケール変換/レベル調整された対応値を表示)
下限除外値入力(4095max.): ;「0」は、除外処理無し、設定以下除外
上限除外値入力(4095max.): ;「0」は、除外処理無し、設定以上除外

読み出し保存可否の選択(チェックマークで実行無し)
直近の読み出しデータ保存数入力(256max.):
(最新データから遡って保持しておく「A/D」読み出しデータ数)

アナログ入力レベルの調整(チェックマークで実行無し)
アナログレベル補正値入力(4桁max.「+」4095~「-」4095「+」は省略可):

5-2-1-1 平均化処理

取得したアナログデータを平均化処理します。平均化処理は3種類ありいずれかを選択します。

1、単純平均(回数)

指定回数のアナログデータを平均化して収集します。回数入力は最大256回です。

2、単純平均(時間)

指定時間内のアナログデータを平均化して収集します。時間入力は最大3600秒(60分)です。

3、移動平均

時系列データを一定回数ごとの平均値を回数をずらしながら収集します。回数入力は最大128回です。

れんら君の移動平均について

移動平均はたとえば10回設定だとすると1回目を破棄し11回目を加えた平均を出し次は2回目を破棄し12回目を加えて平均化する処理でありこれが順次続いていきます。

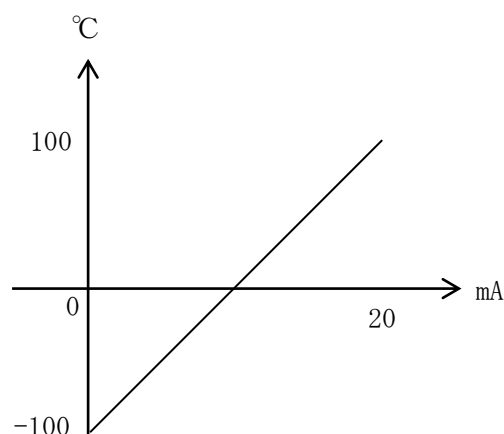
4、Raw DATA(デフォルト設定)

平均化処理をしていない生のデータです。

5-2-1-2 スケーリング可否の選択

測定データをスケールリングすることが出来ます。スケールリングとは測定データを任意の単位に変換することです。アナログれんら君は電流入力または、電圧入力であり、単位は mA または V となります。仮に温度センサーを使うならば単位は $^{\circ}\text{C}$ になりますがセンサー出力は電流または電圧であり、測定値を読みそれを温度に変換しなければなりません。アナログれんら君はその単位を設定すれば自動で変換処理します。

スケールリングは上限、下限を指定し、単位を入力します。



温度センサーが 0mA 出力で -100°C 、20mA 出力で 100°C であると仮定します。

このとき、下限設定を-100、上限設定を100、単位を $^{\circ}\text{C}$ とすると、アナログれんら君は 0mA を -100°C 、20mA を 100°C として正比例で変換します。センサー入力が10mAであったら、 0°C として表示します。

仮に、4-20mA センサーを使い、センサーの 4mA 出力を下限値”0”として登録すると、4mA 以下の電流値が計測されたときマイナスの数字として表示されます。

5-2-1-3 異常値除外

アナログデータである以上、ノイズ等の異常電気パルスが測定データに含まれることはあります。測定データをより正しく収集するためにはそのような異常値を除外するに越したことはありません。異常値除外設定を行うと、設定から外れた計測値は収集データから除外されます。

下限値および上限値の設定が出来ます。0 に設定すると除外処理は行われません。

5-2-1-4 読み出し保存可否の選択

アナログデータの最新データから遡って保持しておくデータ数を設定します。設定保存数は最大 999 個です。

5-2-1-5 アナログ入力レベルの調整

アナログれんら君はユーザーで基本的にオフセット調整やゲイン調整が出来ません。アナログれんら君は 12 ビット (4096) の分解能がありますが、ユーザーの敷設条件や環境により 0 ビットが”0”でないときがあります。また、4095 が最大値を示していないときがあります。そのとき、誤差分をここで指定して補正を掛けることが出来ます。ただし、ここで補正を掛けるとオフセット・ゲインすべてに影響がありますのでご注意ください。

5-2-2 Channel 測定・定時通報 E-Mail 動作可否と関連パラメータ設定

Channel測定・定時通報E-Mail動作可否と関連パラメータ設定

データ収集時間間隔(32767 max, 単位「秒」): 300
「0」は、100msec間隔収集
「-1」は測定動作停止

収集データのメール送信間隔(65535 max, 単位「秒」): 3600
「0」は、メール送信処理無し
「-1」は「メール送信間隔」の間で取得した全てのデータ対象

収集データの送信メール設定数(256max, サンプリングデータ個数): 12
「0」は、データ設定無し
「-1」は「メール送信間隔」の間で取得した全てのデータ対象

測定データ設定方向の選択(チェックマークで「測定時間古」→「新」)

監視条件通報動作実行可否の選択
(チェックマークで「ユニット監視通報条件設定」の設定条件でメール通報、測定値は平均化データ対象)

5-2-2-1 データ収集時間間隔

データ収集時間間隔を設定します。設定時間は最大 32,767 秒（9 時間 6 分 7 秒）です。
“0”にすると、0.1 秒（100ms）間隔でデータ収集を行います。
“-1”にすると、データ収集を停止します。

5-2-2-2 収集データのメール送信間隔

収集データは CSV 形式でファイリングされ定期的にメールに添付ファイルとして載せて送信できます。この機能を使うと、収集データをロギングデータとして収集することが出来ます。定期的なメール送信間隔はここで設定します。最大 65,535 秒（18 時間 12 分 15 秒）です。
“0”にすると、収集データの定期的なメール送信を行いません。

5-2-2-3 収集データの送信メール設定数

収集データは CSV 形式で添付ファイルとしてメール送信できますが、その CSV ファイルに載せる測定データの数を設定します。最大設定数は 256 個です。ただし、収集時間間隔、メール送信間隔で採取できる数が理論上最大数になるため、ここでの設定数がそのまま反映されないことがあります。
“0”にすると、データ設定はなしになります。（CSV ファイルには測定条件だけが記されます）
“-1”にすると、メール送信時間間隔で取得したすべてのデータになります。（ただし 256 個以下です）

5-2-3 定時 Event 通報 E-Mail 登録

メールを登録します。定時通報メールはそれぞれのチャンネルで2通まで登録できます。

Event E-Mail登録操作

チャンネル(01):定時通報(RAW DATA) Event E-Mail登録(現登録件数:0/10)

登録メール番号選択: Mail-1

Subject:(256バイト文字迄) 冷蔵庫温度ロギングデータ

From:(256バイト文字迄) renrakun@nke.demo

To:(256バイト文字迄) manager@nke.demo

Cc:(256バイト文字迄) 同報

Bcc:(256バイト文字迄) アドレス秘匿同報

Message:復帰改行無しで最大256バイト文字迄
(推奨1行78バイト文字+復帰改行~構成で最終2文字復帰改行の256バイト文字迄)

冷蔵庫庫内温度ロギングデータ

「収集データの送信メール設定数」の条件で本文の後に測定データが添付されます
前の画面に戻って「収集データのメール送信間隔」を確認して下さい
設定値が「0」の場合E-Mailは送信されません
(メール番号「1」は測定データ、メール番号「2」は異常値除外データ)

[戻る](#)

選択番号のEvent通知Mailの登録

選択登録番号Event通知Mailの読み出し

選択番号のEvent通知Mailの削除

チャンネル00 (チャンネル01) : 登録するメールのチャンネル番号を示します。

定時通報 : このメールが定時通報メールであることを示します。

(RAW DATA) : アナログデータの収集についてどの平均化処理を使ったかを示します。

現登録件数/可能登録数 を最後に示しています。

メール本文中に +C+ と入力しておく、メール送信時にそのときのアナログデータが +C+ の代わりに挿入されます。

登録メール番号選択 : 各イベント毎に別々のメールを2通まで登録できます。メール番号によって添付CSVファイルの内容が変わります。「Mail-1」は平均化処理データもしくはRaw Dataが添付されます。「Mail-2」は平均化処理データもしくはRaw dataでの異常除外値測定データが添付されます。

「▼」部分をクリックすればリストが出てきますのでMail-1~2のいずれかを選択してください。

Subject : メール の 題名 (件名)

From : メール の 送信者

To : メール の 宛先

Cc : To の宛先へ送るメールの複製を送るメールの宛先

Bcc : To や Cc の受信者に知らせたくない受信者へ送るときのメールの宛先

定時動作条件設定で「load」したときのチャンネルに対してメール登録を行います。

設定した後、「set」をクリックすればメールが登録されます。

一度登録した内容を確認したいときは、その確認したい登録メール番号を選択し「load」をクリックして読み出してください。

登録内容を変更したいときは、「load」をクリックして内容を読み出し、「delete」をクリックして登録内容を削除し、変更設定を入力してください。

⚠ 注意

宛先がBccだけのメールを登録できません。もしも受信者をToやCcに登録したくなくれば送信者のアドレスをToに設定してください。

5-3 ユニット監視通報動作条件設定

「ユニット定時動作条件設定」で設定した平均化処理種別動作に対して、測定値が下限値以下、上限値以上、上限値以上・下限値以下の設定を行い、そのデータが検出回数を超えると条件成立としてメール送信します。このメールには添付ファイルは付きません。

左の列にある「ユニット監視通報条件設定」をクリックして設定を行います。

ユニット監視通報条件設定

各Analog ChannelのEvent生成監視情報を設定する
各Channelの「ユニット定時動作条件設定」で選択した平均化処理種別動作に対して測定値が

- ・下限値以下
- ・上限値以上
- ・上限値以上/下限値以下

の選択した監視条件の検出通報値とその検出回数を設定しておくことで監視要因成立時に登録しておいたEvent通知E-Mailがその都度発行される

機器保守情報設定「メンテナンス情報の更新」で接点機能を出力接点として選択し接点動作条件を設定しておくことで上記監視条件成立時に出力接点のON/OFF動作を実行する

未使用を選択すると監視は行わない

ユニット定時動作条件設定の監視条件通報動作実行可否の選択をチェックマークして測定値の平均化データを使用しながら上・下限値レベルを通報条件として設定する
「監視条件通報」動作の上・下限値レベルと検知イベント回数を設定する
(下記入力フィールドではスケーリング換算指定時、括弧付きでスケーリング変換された対応値を表示)

Channel mode: RAW DATA
監視Analog Channel選択: Channel00

監視要因選択: 未使用
(マウスカーソルを監視要因選択強調文字上でシングルクリックさせると詳細を表示/非表示)

接点機能選択

Check: Ready接点 Non Check: 出力接点(Default)

接点使用Channel指定「未使用(Default)、0、1、共用」
未使用 共用時は監視条件成立結果で接点出力が設定時間より長い場合がある
出力極性 H=Check, L=Non Check(Default)

H: active High, L: active Low
出力接点保持特性
 Check: 保持有り Non Check: 保持無し(Default)
接点出力時間タイムカウント基準値選択
秒 測定同期、秒(Default)、分、時
接点Active時間設定
10 「1~255(Default:10)」xタイムカウント基準値

set 監視Eventの登録
load 指定ChannelのEvent登録内容読み出し
Erase Flash-ROM内の異常Event通知E-MAIL全削除

E-Mailの登録が可能な監視要因
監視要因組み合わせ
「set」押下後に「E-Mail登録」をクリックすることで直前のChannel・要因に対して、又は、「load」押下後に「E-Mail登録」をクリックすることでロードしたChannel・要因に対して設定がなければそれぞれEvent通知E-MAILを登録することができる

監視Event成立時発行E-Mail登録
監視Event E-Mail登録一覧表示

監視 Analog Channel 選択
チャンネルを選択します。
Channel00：チャンネル0
Channel01：チャンネル1

監視要因選択
監視要因を選択します。
「下限値以下」、「上限値以上」
「上限値以上・下限値以下」
「未使用」
のいずれかを選択します。
「監視要因選択」をクリックすると上限値や下限値の詳細設定が出来ます。

接点機能選択
出力接点か Ready 接点か選択します。出力接点を選択した場合、どのチャンネルに同期させるのか、条件成立時はずっと出力させるのかななどの設定が出来ます。また、出力の極性や出力時間の設定も出来ます。Ready 接点を選択した場合は、れんら君が正常動作しているときに接点がクローズです。

監視 Event 成立時発行E-Mail 登録
登録した条件で送信されるE-Mail 内容を設定します。クリックすると E-Mail 設定画面が出てきます。

監視 Event E-Mail 登録一覧表示
各イベントで何通のメールが登録されているのか確認できます。

set
入力した設定情報を登録します。

load
設定した登録内容を読み出します。
登録内容の変更や設定を行うときは登録内容を読み出してから行ってください。

Erase
れんら君に書き込まれているメールデータを一括削除します。

5-3-1 監視 Analog Channel 選択

監視対象となるアナログチャンネルを選択します。

チャンネルを選択後、必ず「load」をクリックし登録内容を読み出してください。

最初に監視要因を選択したとき等は入力ボックスがグレーになっており、入力出来ません。Firefox の場合、ボックスは白ですが入力は出来ません。下側にある「set」ボタンをクリックしてください。入力ボックスのグレーが白に変わり、数字を入力することが出来るようになります。

5-3-2 監視要因選択

監視要因選択: 上限値以上
(マウスカーソルを監視要因選択強調文字上でシングルクリックさせると詳細を表示/非表示)
監視要因下限値(スケール/レベル補正実行指定時は括弧付きで対応換算値が表示される)
下限値入力(0~4095): 0 (0.0000 mA) 「1~4095」
(下限値を下回った入力通知対象:「0」は常に条件成立)
下限値変化回数入力(0~65535): 0
(「0」は動作停止 変化回数:「1~65535」設定変化回数以上で通知)
監視要因上限値(スケール/レベル補正実行指定時は括弧付きで対応換算値が表示される)
上限値入力(0~4095): 4000 (19.5360 mA) 「1~4095」
(上限値を超えた入力通知対象:「0」は常に条件成立)
上限値変化回数入力(0~65535): 1
(「0」は動作停止 変化回数:「1~65535」設定変化回数以上で通知)
通知抑制時間(0:抑制無し)
抑制時間「1~65535」入力:単位「秒」 10
(条件成立通知後に通知動作を停止する時間でこの間の成立条件は破棄)

ユニット監視通報条件は、上限値（下限値）を設定することだけでなくもうひとつの条件設定を行わなければ、使うことは出来ません。それは「ユニット定時動作条件設定」の「異常値除外設定」になります。ユニット監視通報条件は、ある範囲を設定しその範囲を超えたデータに対して上限側または下限側にしきい値を設定し、それを超えたときに初めて通報条件が成立したと判断します。

ここでの設定は上限値または下限値とその条件が起こった回数になります。

上限値設定範囲：1~4095

ただし、異常値設定除外の値から 4095 までの間になります。

“0”を設定したときは、すべての取得データが異常値と判定されます。

下限値設定範囲：1~4095

ただし、0 から異常値設定除外の値の間になります。

“0”を設定したときは、すべての取得データが異常値と判定されます。

上限値（下限値）変化回数入力：1~65535

上限値（下限値）を超えた回数の設定になります。

“0”を設定したときは、監視通報条件が成立しても監視通報メールを送信しません。

通知抑制時間：1~65535（秒）

一度条件成立した後は通知抑制時間経過後、再び要因監視を始めます。要因検出が短時間で連続で起こるときに、一度検出した後インターバルを設けて連続検出を防ぎたいときなどに通知抑制時間を設定します。

5-3-3 監視 Event 成立時発行 E-Mail 登録

メールを登録します。監視通報メールはそれぞれの設定で1通ずつ登録できます。

Event E-Mail登録操作

Channel(01): 上限値以上(RAW DATA) Event E-Mail登録(現登録件数:3/10)

登録メール番号選択: Mail-1 ▼

Subject:(256バイト文字送) 冷蔵庫内温度異常

From:(256バイト文字送) renrakun@nke.demo

To:(256バイト文字送) manager@nke.demo

Cc:(256バイト文字送) 同報

Bcc:(256バイト文字送) アドレス秘匿同報

Message: 復帰改行無しで最大256バイト文字送
(推奨1行78バイト文字+復帰改行〜構成で最終2文字復帰改行の256バイト文字送)

冷蔵庫内温度異常
現在値は +C+ になっています。

(メール番号「1」は上限・下限監視、メール番号「2」は予約)

[戻る](#)

選択番号のEvent通知Mailの登録

選択登録番号Event通知Mailの読み出し

選択番号のEvent通知Mailの削除

Channel100 (Channel101) :
登録するメールのチャンネル番号を示します。

上限値以上 : このメールが上限値以上メールであることを示します。

(RAW DATA) : アナログデータの収集についてどの平均化処理を使ったかを示します。

現登録件数/可能登録数 を最後に示しています。

メール本文中に +C+ と入力しておくのと、メール送信時にそのときのアナログデータが +C+ の代わりに挿入されます。

登録メール番号選択 : 各イベントごとにメールを1通登録できます。「▼」部分をクリックすればリストが出てきますが、Mail-2は予備であり使用できません。

Subject : メール の 題名 (件名)

From : メール の 送信者

To : メール の 宛先

Cc : To の宛先へ送るメールの複製を送るメールの宛先

Bcc : To や Cc の受信者に知らせたくない受信者へ送るときのメールの宛先

定時動作条件設定で「load」したときのチャンネルに対してメール登録を行います。

設定した後、「set」をクリックすればメールが登録されます。

一度登録した内容を確認したいときは、その確認したい登録メール番号を選択し「load」をクリックして読み出してください。

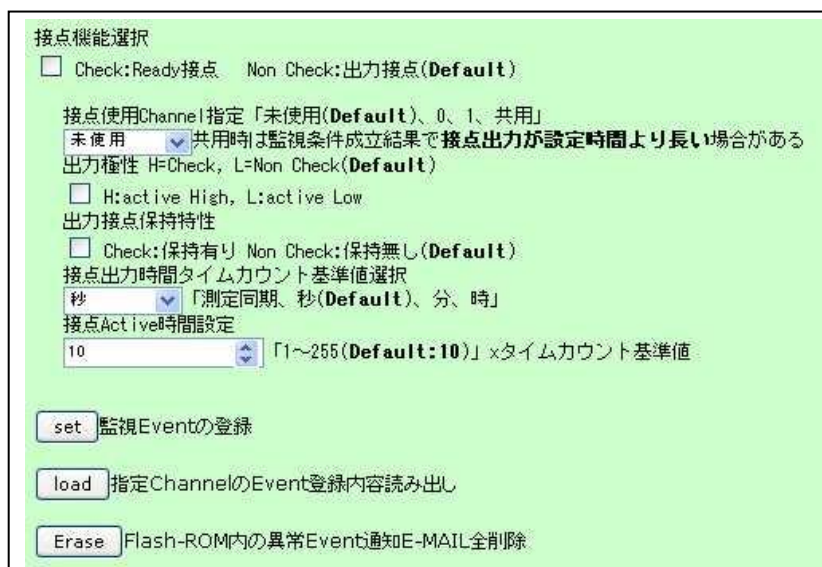
登録内容を変更したいときは、「load」をクリックして内容を読み出し、「delete」をクリックして登録内容を削除し、変更設定を入力してください。

⚠ 注意

宛先が Bcc だけのメールを登録できません。もしも受信者を To や Cc に登録したくなければ送信者のアドレスを To に設定してください。

5-3-4 接点機能選択

監視要因の測定値が下限値以下、上限値以上、上限値以上・下限値以下など設定条件を満たしたとき、接点出力を行うことができます。



Ready 接点：出荷時設定は Ready 接点ではなく接点出力設定

れんら君の動作が異常時に接点出力がオープンになる使用です。Ready 接点を使用するとれんら君が正常に動いているか外部機器から監視が出来ます。この機能を使うと要因監視による接点出力の連動は出来ません。

接点使用 Channel 指定：出荷時設定は未使用

接点出力は一つしか備えていません。これと連動する Channel を設定します。共用を選んだときは、Channel0、1 の何れかが監視要因設定条件を満たしていれば出力します。

出力極性：出荷時設定は出力時に接点が 0V、出力していないときオープン

接点出力の動作極性を設定します。接点出力が起こったときに接点を 0V にしたいときは L: active Low 設定を、接点出力が起こったときに接点をオープンにしたいときはチェックをはずし、H: active High 設定にします。

出力接点保持特性：出荷時設定は保持しない

れんら君はメール送信、データ収集をストップする非監視モードの動作が出来ます。これは背面のボタンを押して「STAT」ランプが消灯したときや、コマンドメールで「STOP」コマンドを受信して「STAT」ランプが消灯したときになります。このとき、接点出力の状態を保持するか、保持しないかの設定を行います。

接点出力時間タイムカウント基準値選択：出荷時設定は秒

接点出力の継続時間を設定するときの時間単位を設定します。時間単位は秒、分、時の 3 種類から選択します。

接点 Active 時間設定：出荷時設定は 10、設定範囲は 1~255

接点出力の継続時間を設定します。

5-4 ネットワークパラメータ設定

れんら君の IP アドレス等のネットワークパラメータを手動で入力するか DHCP サーバーから自動で取得するか選択できます。出荷時設定は DHCP による自動取得になっています。

ネットワークパラメータ設定

UNITの Network情報を設定する
Network情報の更新:

MAC Address: 00:0C:9F:90:00:00

Enable DHCP

IP Address: 192.168.5.14

Gateway: 192.168.5.254

Subnet Mask: 255.255.255.0

Primary DNS: 125.170.93.226

Secondary DNS: 210.145.254.162

set

固定 IP アドレスで運用されたい方は「Enable DHCP」横のチェックをクリックしてはしないでください。手動で IP アドレスを設定できます。

「set」をクリックすれば、入力値がれんら君に保管されます。

MAC Address:れんら君の MAC アドレス

IP Address : れんら君の IP アドレス

Gateway : れんら君がインターネットに接続するためにデータを中継する機器の IP アドレス

Subnet Mask : ネットワークアドレスの指定範囲の設定。通常は「255.255.255.0」です。

Primary DNS : ドメインを IP アドレスに変換する DNS サーバーの IP アドレスです。

Secondary DNS : Primary DNS を補完する DNS サーバーの IP アドレスです。

5-5 日時修正

日時修正

日付の手動更新
 年月日 : 二桁指定+曜日 (yy-mm-ddT T:0[日]~6[土])

時刻の手動更新
 時刻 : 二桁指定 (hh:mm:ss)

SNTP自動校正情報設定
 SNTP校正実行可否の選択 (チェックマークで実行なし)

実行時のパラメータ設定
 URL : SNTPサーバ名称 (IP Address)
 実行周期 (hh:mm)

: 更新

日付の手動更新	日付を手動で設定できます。 たとえば「17/12/07(Thu)」に設定したい場合、「17-12-074」と設定します。
時刻の手動更新	時刻を手動で設定できます。 たとえば「17:25:59」に設定したい場合、「17:25:59」と設定します。
SNTP 自動校正情報設定	自動でSNTPサーバにアクセスし、時刻の修正を行うかどうかを設定します。 チェックボックスにチェックを入れると自動で時刻の修正を行いません。
実行時のパラメータ設定	URLには、SNTPサーバ名を設定します。 実行周期は、SNTPサーバにアクセスする間隔を設定します。 たとえば「1:00」に設定したい場合、「01:00」と設定します。

5-6 E-Mail パラメータ設定(SMTP)

E-Mail を使うためにメールサーバーの設定を行います。

E-Mailパラメータ設定(SMTP)

SMTP Server(64文字迄):

Port: 25 or 587 or 465 or Other

SMTP Authentication:

Use STARTTLS
(except 465port,465port is always smtps(SSL))

Use POP before SMTP
(「POP before SMTP選択時」は下記「Login～Cram-MD5」のSMTP認証にチェックマークしないこと)

Use Auth-Login

Use Auth-Plain

Use Auth-Cram-MD5

送信リトライ間隔(0～3600sec):

送信リトライ回数(-1～16回):

保守用通知先アドレス(40文字迄):

User Name(40文字迄):

Password(40文字迄):

UNIT Domain名(64文字迄):

[E-Mail Parameter設定\(POP3\)](#)

上図は Yahoo!メールを使う場合の例です。お客様が契約されているプロバイダなどの用紙等でご確認ください。一般的には「Port」は” 25” または” 587” であり、チェックボックスには「USE Auth-Login」だけチェックの設定になります。他の項目はプロバイダ等の資料をご確認ください。

SMTP Server	SMTP サーバーを入力します
Port	SMTP サーバーのポート番号を入力します
SMTP Authentication	認証の種類をチェックします
送信リトライ間隔	メール送信に失敗したとき、再送信するまでの時間の間隔を入力します
送信リトライ回数	メール送信に失敗したとき、再送信する回数を入力します
保守用通知先アドレス	れんら君が送信するメールの宛先メールアドレスを入力します
User Name	保守用通知先アドレスのメールアカウント名を入力します
Password	保守用通知先アドレスのパスワードを入力します
UNIT Domain 名	任意の名前を入力します。特に変更の必要はありません

すべてを入力したあと、下側にある「set」ボタンを押します。

注意

Yahoo!メールをお使いのときは次の設定が必要になります。Yahoo!メールの設定ページ右上にある「設定・その他」をクリックし設定ページに進みます。「メール管理」の「POP/IMAP アクセスとメール転送」をクリックし「サービスの選択」の「ブラウザアクセスと POP/IMAP アクセス」にチェックが付いていることを確認ください。

5-7 E-Mail パラメータ設定(POP3)

E-Mail パラメータ設定(POP3)では、れんら君がコマンドメールを受信するための設定を行います。

E-Mailパラメータ設定(POP3)

POP3 server(64文字迄): pop.mail.yahoo.co.jp

Port: 110 110 or 995 or Other

POP3 Authentication:

Use POP3S
(except 995port,995port is always pop3s(SSL))

Use Auth-Login

Use Auth APOP(POP3)

SMTPのUser名登録を使用(チェックマークでSMTP側使用)
User Name(40文字迄):

SMTPのPassword登録を使用(チェックマークでSMTP側使用)
Password(40文字迄):

接続間隔(1~65500分 0:接続停止): 30

返信用Fromアドレス(40文字迄): account@yahoo.co.jp

上図は、Yahoo!メールを使用する場合の例です。

POP3 server	POP3 サーバーを入力します
Port	POP3 サーバーのポート番号を入力します
POP3 Authentication	認証の種類をチェックします
User Name	POP3 認証で使用するメールアドレスのユーザー名を入力します E-Mail パラメータ設定(SMTP)で設定したものと同一メールアドレスを使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください
Password	POP3 認証で使用するメールアドレスのパスワードを入力します E-Mail パラメータ設定(SMTP)で設定したものと同一メールアドレスを使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください
接続間隔	れんら君が POP3 サーバーへ接続し、コマンドメールを見に行く時間間隔を設定します
返信用 From アドレス	れんら君がコマンドメールの返信時に使用する、From アドレスに表示されるメールアドレスです

すべてを入力したあと、下側の「set」ボタンを押します。

注意

Yahoo!メールをお使いのときは次の設定が必要になります。Yahoo!メールの設定ページ右上にある「設定・その他」をクリックし設定ページに進みます。「メール管理」の「POP/IMAP アクセスとメール転送」をクリックし「サービスの選択」の「ブラウザアクセスと POP/IMAP アクセス」にチェックが付いていることを確認ください。

5-7-1 メーラーを使用して POP 受信する

れんら君がコマンドメールを受信するためには、Thunderbird、Outlook などのメーラーを使用してコマンドメールを POP 受信する必要があります。Yahoo!メールなどの IMAP 受信が標

準のメールサービスでは、れんら君はコマンドメールを正しく受信することができず受信エラーを起こします。

ここでは、無料のメーラーである「Thunderbird」を使用して、Yahoo!メールのメールをPOP受信する方法を解説します。

5-7-1-1 Yahoo!メールの設定

Yahoo!メールでPOP受信を有効にするには、Yahoo!にログインして設定を変更する必要があります。その手順は以下のとおりです。

[1]Yahoo!にログインし、右上の「設定・その他」ボタンをクリックします。



[2]「設定」をクリックします。



[3]「POP/IMAP アクセスと転送」タブをクリックします。「ブラウザーアクセスとPOP/IMAPアクセス」にチェックが付いていることを確認し、「保存」をクリックします。



以上でYahoo!メールの設定は終了です。

5-7-1-2 Thunderbird の設定

Yahoo!のメールを POP 受信するにはメーラーを使用します。ここでは無料のメーラーである Thunderbird 使用して、Yahoo!のメールを POP 受信する設定方法を解説します。

[1] Thunderbird を起動して、新しいアカウント作成の「メール」をクリックします。

Thunderbird Mail - ローカルフォルダ

アカウント



このアカウントの設定を表示する



新しいアカウント作成:

メール

チャット

ニュースグループ

フィード



新しいカレンダーを作成する

[2] 「メールアカウントを設定する」をクリックします。

Thunderbird のご利用ありがとうございます

新しいメールアドレスを使いたい方

氏名またはニックネーム

いくつかのプロバイダとの提携により、Thunderbird が新しいメールアカウントを提供します。利用可能なメールアドレスを検索するため、ご氏名または好きな言葉を上のテキストボックスに入力してください (半角英数字のみ)。

gandi.net

検索語句は、利用可能なメールアドレスを見つける目的で Mozilla (プライバシーポリシー) とサードパーティのメールプロバイダ gandi.net (プライバシーポリシー、サービス利用規約) に送信されます。

[3] メールアドレスとパスワードを入力後、「続ける」ボタンをクリックします。

メールアカウント設定

あなたのお名前(N): N K E株式会社 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): account@yahoo.co.jp

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

新しいアカウントを取得(G) 続ける(C) キャンセル(A)

[4] 「POP3(メールをコンピュータに保存)」を選択し、「手動設定」ボタンをクリックします。

メールアカウント設定

あなたのお名前(N): N K E株式会社 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): account@yahoo.co.jp

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

アカウント設定が Mozilla ISP データベースから見つかりました。

受信サーバ: POP3, pop.mail.yahoo.co.jp, SSL
送信サーバ: SMTP, smtp.mail.yahoo.co.jp, SSL
ユーザ名: account

新しいアカウントを取得(G) 手動設定(M) 完了(D) キャンセル(A)

[5] 受信サーバが「POP3」、サーバのホスト名が「pop.mail.yahoo.co.jp」、ポート番号が「110」、認証方式が「自動検出」にし、「完了」ボタンをクリックします。

メールアカウント設定

あなたのお名前(N): N K E株式会社 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): account@yahoo.co.jp

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

アカウント設定が Mozilla ISP データベースから見つかりました。

	サーバのホスト名	ポート番号	SSL	認証方式
受信サーバ:	POP3 pop.mail.yahoo.co.jp	110	自動検出	自動検出
送信サーバ:	SMTP smtp.mail.yahoo.co.jp	587	自動検出	自動検出

ユーザ名: 受信サーバ: account 送信サーバ: account

新しいアカウントを取得(G) 詳細設定(A) 再テスト(I) 完了(D) キャンセル(A)

メールアドレス、パスワードが正しく入力できていたら設定完了です。ここで設定した Yahoo!アカウントでコマンドメールを受信することができます。

5-8 E-Mail TEST 発行

メールサーバーが正しく設定できているのかテストメールを送信することができます。



E-Mailパラメータ設定によるE-Mailテスト発行

SMTP Client設定
POP Client設定
両設定操作を行い、該当情報管理領域にパラメータが設定されていること。

To: 宛先
Cc: 同報
Bcc: アドレス不可視同報
Message:(128文字迄)
れんら君設定確認用TESTメールの発行です。(メール本文)

send

To、Cc、Bcc : 宛先を入力します。

Message : メール本文を入力します。メール送信を確認するためのものです。

宛先、本文を入力すれば、「send」ボタンをクリックし、メールをテスト送信します。メールテストが正常に終了すれば次のようになります。

メール送信正常終了

メールサーバーの仕様によりメールアドレスを間違えてもメールテスト送信が正常に行われることがあります。注意ください。

メールテスト送信が失敗に終わったときは次のような画面が出てきます。

送信異常
前の画面に戻り
「SMTP server 設定情報」
を確認の上、再試行して下さい

「E-Mail パラメータ設定」に戻り、設定項目を見直してください。
また、「ネットワークパラメータ設定」に問題があることがあります。確認ください。

5-9 機器保守情報設定

コマンドメールのユーザー名やパスワードの設定をします。
またブラウザにアクセスしたときのセキュリティ・認証パスワードの設定変更が出来ます。
更に、れんら君管理ツールと連携してれんら君の設定データの保存や書込み、データのストリーミングによる監視、設定データの読み出し、ファームウェアの更新のための設定が行えます。

ユニット名：コマンドメールの件名に当たります。

ユーザー名：コマンドメールのユーザー名になります。

パスワード：コマンドメールのユーザーパスワードになります。

Root Login Password：ブラウザにアクセスしたときのセキュリティ・認証パスワードです。

設定値を入力し「set」を押せばデータは保存されます。設定値は電源を再投入したときから反映されます。

TFTPS：れんら君管理ツールに接続して設定データの保存や読み込み、ファームウェアの更新を行うときにクリックします。

CMNDS：れんら君管理ツールに接続してれんら君の状態をモニタするときにクリックします。モニタが終了すればもう一度クリックしてください。れんら君管理ツールとの接続が解除されます。

Renew：「set」で設定したデータを有効にします。ただし、Network を再起動しなければ変更は有効となりませんのでご注意ください。

Reboot：クリックするとれんら君が再起動します。Network の変更設定も有効になります。

Update：れんら君のファームウェアをアップデートするときにれんら君をアップデートモー

ドに切り替えるためにクリックします。れんら君管理ツールと連携してファームウェアのアップデートを行います。

⚠ 注意

一度「Update」をクリックすると中断できません。そのまま電源再投入してもアップデートモードのまま立ち上がりますので、れんら君を使うことが出来ません。「Update」をクリックしてしまったら最後までアップデートを行わなければれんら君を使用することは出来ません。

5-10 れんら君 Mail モニタ

れんら君のメール送受信が正しく行われているのか確認用に使います。れんら君管理ツールと連携して動作モニタを行います。



- POPon：メール受信動作を確認したいときクリックします。
- POPoff：メール受信動作のモニタリングを終了するときクリックします。
- SMTPon：メール送信動作を確認したいときにクリックします。
- SMTPoff：メール送信動作のモニタリングを終了するときクリックします。
- ADCon：アナログデータのモニタリングをしたいときにクリックします。
- ADCoff：アナログデータのモニタリングを終了するときクリックします。

メール動作の確認はれんら君管理ツールと連携で行います。
れんら君 Mail モニタを使用する前に必ず「機器保守情報設定」の「CMNDS」をクリックしてれんら君管理ツールと接続しておいてください。

モニタリングはれんら君管理ツールで行います。

6 コマンドメール機能

6-1 コマンドメール機能について

コマンドメールとは、電子メールにより、れんら君の制御や状態取得を行う機能です。

パソコンや携帯電話から電子メールを送ることで、遠隔地かられんら君の制御を行うことができます。

テキスト形式のメールに対応します。リッチテキスト形式（HTML 形式）のメールは対応しません。

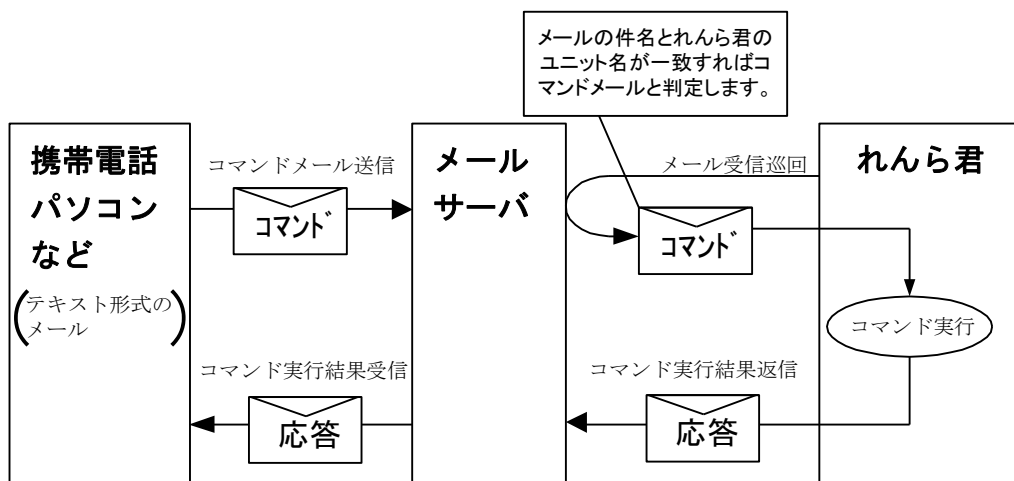


図 10-1 コマンドメール実行動作概要

コマンドメールにより、以下の機能を使用することが出来ます。

表 10-1 コマンド一覧

項番	コマンド名	機能
1	STATUS	れんら君の動作状態, 接点の入出力状態を取得します。
2	START	れんら君を状態監視状態にします。
3	STOP	れんら君の状態監視状態を解除します。
4	FSHOT	れんら君の出力接点を指定時間だけ ON します。
5	FON	れんら君の出力接点を強制出力状態にし、出力を ON に固定します。
6	FOFF	れんら君の出力接点を強制出力状態にし、出力を OFF に固定します。
7	FRESET	れんら君の出力接点の強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。

6-2 コマンドメールの作成方法

6-2-1 コマンドメールのフォーマット

コマンドメールを送信するには、下記のように、件名、本文を入力する必要があります。ユニット名、ユーザー名、パスワードの設定方法については、32ページの [機器保守情報設定](#)を参照してください。

宛先	メールアドレスを入力します
件名	[ユニット名]を入力します
本文	[ユーザ名] [パスワード] [コマンド] を入力します

図 10-2-1 コマンドメール入力項目

(1) 宛先

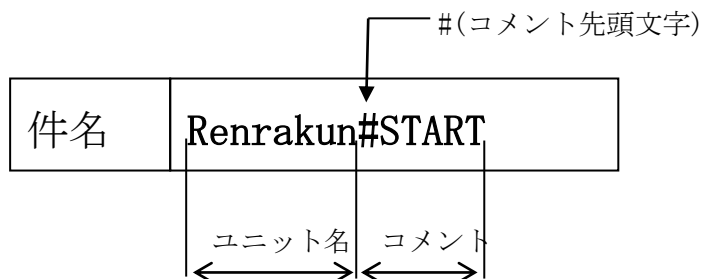
れんら君がメール受信を行うメールアドレスを入力します。

(2) 件名

れんら君のユニット名を半角英数字で入力します。れんら君は、件名欄に入力されたユニット名により、実行するコマンドメールを判別し、該当するメールのみ読込・実行します。実行完了したメールは削除されます。

ユニット名の後ろにコメントを追加することも出来ます。コメントを入力するには、れんら君のユニット名の後ろに#を入力し、その後にコメントを半角英数字で入力します。コメントの文字数はユニット名を含めて16文字までです。

(例) れんら君のユニット名 Renrakun
コメント START



(3) メール本文

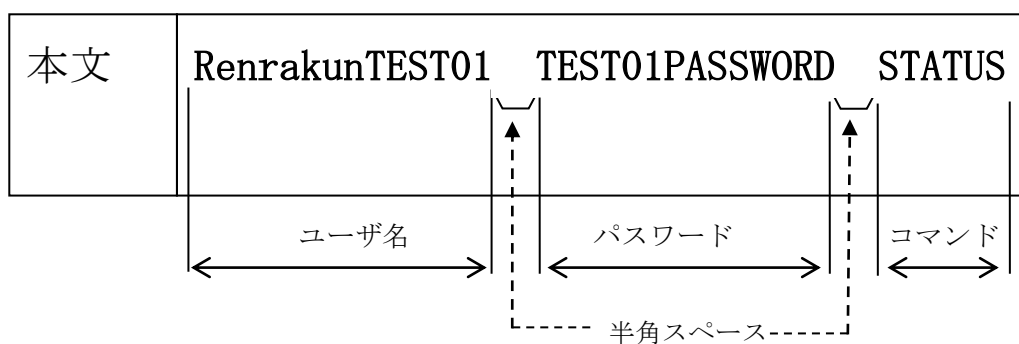
メール本文の最初の行にユーザー名、パスワードと実行するコマンドを入力します。

ユーザー名、パスワード、コマンド、コマンド引数の間は、それぞれ1つの半角スペースで区切り、一行以内に入力します。

行の終端の改行の有無は関係ありません。

(例) ユーザー名 **RenrakunTEST01**
 パスワード **TEST01PASSWORD**
 コマンド **STATUS**

を実行する場合



(4) 応答先

コマンドメールの実行結果はメール送信元に返信されます。

6-3 コマンド説明

(1) STATUS

れんら君の動作状態と接点の入出力状態を取得します。

<コマンド構文>

STATUS

<レスポンス>

+OK "STATUS"

UNIT STATUS

<UNIT> **READY**

<UNIT EVENT> **START**

MAIL STATUS

<NOTIFY> **READY**

<COMMAND> **IN SESSION**

Current Analog Measurement operation monitoring Status

* : Scaling 変換実行 Channel

<Ch.0> **RAW DATA (平均処理無し) ***

<Ch.1> **RAW DATA (平均処理無し) ***

Current Fixed Time Event Watch Status

<Ch.0> **定時通報 (測定値)**

<Ch.1> **定時通報 (測定値)**

Current Illigal Event Watch Status

<Ch.0> **上・下限値異常**

<Ch.1> **上限値異常**

Current IC Channel Mode

<Ch.0> **Auto Single**

<Ch.1> **Auto Single**

Current logical output state(Contact:Act./Inact. u:Use Ch. f:Force ch.)

<Ch.0> **Inact**

<Ch.1> **Inact**

TFTP/Command Server activation status

TFTP <0> 1:Run 0:Stop

Command <0> 1:Run 0:Stop

STATUS イベントでの表示項目

UNIT STATUS

<UNIT> (ユニットの状態)

項目	意味
READY	動作中
ALART	装置異常

<UNIT EVENT> (要因監視の状態)

項目	意味
STOP	要因監視停止
START	要因監視中
ERR	要因監視異常

MAIL STATUS

<NOTIFY> (メール送受信)

項目	意味
READY	正常動作中
TX-RETRY	メール送信リトライ中
TX-ERR	メール送信異常
RX-RETRY	メール受信リトライ中
RX-ERR	メール受信異常

<COMMAND> (コマンドメール)

項目	意味
READY	正常動作中
TX-RETRY	メール送信リトライ中
TX-ERR	メール送信異常
RX-RETRY	メール受信リトライ中
RX-ERR	メール受信異常
IN SESSION	コマンド動作中

Current Analog Measurement operation STATUS

チャンネル0(Ch. 0)、チャンネル1(Ch. 1)の平均処理種別を示す。

Current Fixed Time Event Watch Status

定時通報を示します。設定してなかったら「未使用」となります。

Current Illigal Event Watch Status

異常値通報の種別を示します。設定してなかったら「未使用」となります。

Current IC Channel Mode

Auto Single という表示になります。

Current logical output state(Contact:Act./Inact. u:Use Ch. f:Force ch.)

接点出力の状態を示します。コマンドメールでCh. 1が強制出力状態のときは

<Ch. 1> Act u f

となります。

TFTP/Command Server activation status

れんら君管理ツールでデータ書き込みをしているときなどでは

TFTP <1>

と表示します。

Current measurement value(Channel 0 - 1)

アナログ量の現在値を表示します。

スケーリング設定をしているときは、それを反映した表示となります。

(2) START

れんら君を状態監視状態にします。

<コマンド構文>

START

<レスポンス>

+OK "START"

(3) STOP

れんら君の状態監視状態を解除します。

<コマンド構文>

STOP

<レスポンス>

+OK "STOP"

(4) FSHOT

れんら君の出力接点を指定時間だけ ON します。
出力接点が強制出力状態の時には実行できません。

<コマンド構文>

FSHOT [I/O 番号] [時間単位] [出力時間]

[I/O 番号] : I/O 番号を指定します。

■接点出力は一つしかないので固定です。
設定値 0 (出力接点 0 のみ)

[時間単位] : 時間単位を指定します。

■s:秒 m:分 h:時

[出力時間] : 数字で指定します。

■

設定範囲 1~255

<レスポンス>

+OK "FSHOT"

<例>出力接点 0 に 20 秒間、ONパルスを出力する場合

FSHOT 0 s 20

(5) F0N

れんら君の出力接点を強制 ON します。

FRESE^Tコマ^ンド^トによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<コマ^ンド^ト構^文>

F0N [I/O 番号]

I/O 番号 : I/O 番号を指定します。0 で固定です。

<レス^ポンス>

+OK "F0N"

<例>接点 0 を強制 ON 状態にする場合

F0N 0

(6) F0FF

れんら君の出力接点を強制 OFF します。

FRESE^Tコマ^ンド^トによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<コマ^ンド^ト構^文>

F0FF [I/O 番号]

I/O 番号 : I/O 番号を指定します。0 で固定です。

<レス^ポンス>

+OK "F0FF"

<例>接点 0 を強制 OFF 状態にする場合

F0FF 0

(7) FRESE^T

れんら君の出力接点の強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。

<コマ^ンド^ト構^文>

FRESE^T [I/O 番号]

I/O 番号 : I/O 番号を指定します。0 で固定です。

<レス^ポンス>

+OK "FRESE^T"

<例>接点 0 の強制出力状態を解除する

FRESE^T 0

6-4 エラーメッセージ

コマンドメールを実行することが出来ない場合、れんら君からエラーメッセージを含んだ応答メールを返信します。

エラーとなる要因は、以下の通りです。

(1) 認証失敗

〈エラーメッセージ〉

-ERR unmatched USERNAME or PASSWORD

〈エラーの要因〉

- ユーザー名または、パスワードが設定された値と異なる為、認証に失敗。ユーザー名または、パスワードに誤りがあると考えられます。アルファベットの大文字・小文字の誤り、入力ミスが原因として考えられます。メール形式がテキスト形式で無い時、認証に失敗します。
- リッチテキスト形式（HTML 形式）のメールには対応していません。スマートフォン等ではメール初期設定がリッチテキスト形式になっています。「デコメ・装飾を解除」等の設定を行ってください。
- れんら君に Gmail を設定して、スマートフォンからメールを送ったときテキスト形式で送信しているにもかかわらずエラーが起こり、コマンドメールが使用できませんので注意ください。

(2) 無効なコマンド

〈エラーメッセージ〉

-ERR "コマンド名" command not found

〈エラーの要因〉

入力されたコマンドが、無効なコマンドの為、実行不可能。
入力されたコマンドに誤りがあると考えられます。

(3) コマンドフォーマット異常

〈エラーメッセージ〉

-ERR "コマンド名" command argument count wrong

〈エラーの要因〉

入力されたコマンドの引数の数が、定められたフォーマットと異なる。

(4) コマンド引数値異常

〈エラーメッセージ〉

-ERR "コマンド名" command argument "引数名" wrong

〈エラーの要因〉

入力されたコマンド引数値が、規定範囲外である。

7 れんら君管理ツール詳細

れんら君にアクセスするためには、れんら君の IP アドレスを知らなければなりません。れんら君の初期 IP アドレスは DHCP サーバーからの自動取得になっており、容易にアクセスすることが出来ません。れんら君管理ツールは、LAN に接続されているれんら君を発見し、IP アドレスを知るために用います。ただし、それだけではなく、れんら君の設定データをバックアップしたり、レストアしたり、また、れんら君の状態をモニタしたり、ファームウェアのアップデートを行うことが出来ます。

7-1 ファイルメニュー

れんら君の設定データの保存・書き込みが出来ます。また、ファームウェアの更新も行うことが出来ます。ファイルメニューの各項目を使うためには、先にれんら君を検出しておく必要があります。「3 れんら君管理ツール」を参照してれんら君を検出してください。



7-1-1 アクセスパスワードの設定

れんら君の設定の「メンテナンスパラメータ設定」で「Root Login Password」を「root」以外の設定にしたとき、各設定を実行するには、設定されたパスワードを入力しなければなりません。「アクセスパスワードの設定」をクリックしたときに出てくるボックスにパスワードを入力ください。入力した後、ボックスが出ているままで各設定の項目をクリックしたとき、パスワードが有効であれば、各設定を実行することが出来ます。何もパスワードを「root」から変更していないときはここでは何もしなくてかまいません。「Root Login Password」の初期設定値は「root」になっています。

7-1-2 監視条件の書込み

予めれんら君から読み出し、保存していたイベントパラメータ設定情報をれんら君に書き込みます。れんら君設定画面 TOP ページで「TFTPS」ボタンをクリックしておくこと、および「[7-2-1 接続・モニタ\(開始/停止\)](#)」でれんら君に接続しておく必要があります。れんら君を再起動すれば書き込んだ設定は反映されます。

7-1-3 EVENT 通知 E-MAIL の書込み

予めれんら君から読み出し、保存していた各イベント成立時に送信するメールデータをれんら君に書き込みます。れんら君設定画面 TOP ページで「TFTPS」ボタンをクリックしておくこと、および「[7-2-1 接続・モニタ\(開始/停止\)](#)」でれんら君に接続しておく必要があります。

れんら君を再起動すれば書き込んだ設定は反映されます。

7-1-4 Network 情報の読出し

れんら君に書き込まれていたネットワーク情報（IP アドレス、サブネットマスク等）のデータを読み出し保存します。生成されたファイルは「読み取り専用」という属性になります。元々あるファイルに上書きしようとするとう不具合となりますのでご注意ください。

7-1-5 監視条件の読出し

れんら君に書き込まれていたイベントパラメータ情報のデータを読み出し保存します。データのバックアップに使います。生成されたファイルは「読み取り専用」という属性になります。元々あるファイルに上書きしようとするとう不具合となりますのでご注意ください。

7-1-6 EVENT 通知 E-MAIL の読出し

れんら君に書き込まれていた各イベント成立時に送信するメールデータを読み出し保存します。データのバックアップに使います。生成されたファイルは「読み取り専用」という属性になります。元々あるファイルに上書きしようとするとう不具合となりますのでご注意ください。

7-1-7 Firmware 更新

れんら君のファームウェアを更新します。

れんら君本体の設定で「システムパラメータの設定」の「Update 実行許可」にチェックマークを入れないとファームウェアの更新は出来ません。アップデートを一度始めると、途中で中断できません。もしも途中で中断を行いますと、れんら君は使用不可能になる恐れがあります。アップデートをされる時は十分注意をされるようお願いします。

Update 実行手順

ブラウザでの設定画面の「システムパラメータ」の Update 実行許可にチェックを入れます。

↓

「メンテナンスパラメータ」の「Update」をクリックし、れんら君本体をアップデート待ちの状態にします。（この状態になると操作前の状態に戻りません。必ず最後までアップデートを行ってください。）

れんら君は「PWR」LED が緑点滅している状態になります。

↓

れんら君管理ツールの「Firmware 更新」をクリックします。

↓

固定 IP アドレスでの運用をしているなら、「れんら君探索」の「呼び出し」でれんら君を検出し、「応答一覧」で選択した後、「検索応答れんら君の Firmware 更新」をクリックしてください。DHCP による IP アドレス自動取得での運用なら、「Default IP れんら君の Firmware 更新」をクリックしてください。

↓

ファイルを選択するボックスが出てきます。れんら君の Firmware ファイルを選択してください。「処理 File 名」ボックスが出てきますので「OK」をクリックしますとアップデートがスタートします。

↓

「れんら君管理ツール」の下側に進捗を現すバーが出てきます。しばらくするとアップデートが終わり、れんら君が再起動します。

「Firmware 更新」をクリックしたとき「入力 IP によるれんら君の Firmware 更新(IP 入力)」と「入力 IP によるれんら君の Firmware 更新(更新実行)」という項目もあります。これはれんら君の IP アドレスがわかっているとき、れんら君探索を行うことなくファームウェアを更新するために使います。

「入力 IP によるれんら君の Firmware 更新(IP 入力)」をクリックするとボックスが表示されます。ボックスには「root」と文字列が入っています。これを削除し IP アドレスを入力します。もしもれんら君の IP アドレスが「192.168.0.1」であればボックスに「192.168.0.1」と入力します。そのままにしておいて、次に、「入力 IP によるれんら君の Firmware 更新(更新実行)」をクリックします。すると、ファームウェアファイルの場所を尋ねてきますので入力してください。そうすれば、ファームウェア更新作業が始まります。

7-2 ユニット動作表示



れんら君の動作状態のモニタや登録メールの読み出し・削除を行うことができます。

7-2-1 接続・モニタ(開始/停止)

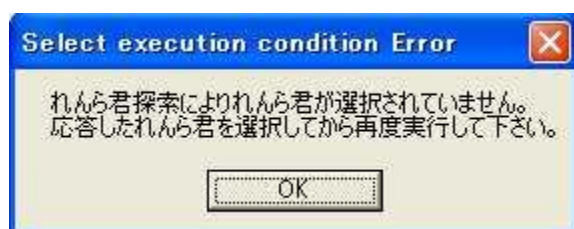
れんら君と接続または接続を切ることができます。
クリックすると次の画面が出てきます。



れんら君の電源が入っていることを確認ください。
れんら君に接続すると次のような表示が出てきます。



れんら君を探索した後、れんら君の「応答一覧表示」をクリックして表示の上、れんら君をクリックして選択していないと次の表示が出てきます。れんら君の「応答一覧表示」等は7-3章および7-3-2項を参照ください。



7-2-2 モニタ情報保存

れんら君の状態をモニタするとれんら君管理ツールの画面に様々な情報が表示されます。「モニタ情報保存」はそれらの様々な情報をデータ保存するために使用します。

7-2-3 ユニット状態読み出し

れんら君の状態を読み出すことができます。コマンドメールの「STATUS」コマンドを実行したときと同様の表示となります。詳細は6-3を参照ください。

7-2-4 EVENT 監視(開始/停止)

定時通報イベントや監視イベントの監視を開始します。再びクリックすると停止します。

7-2-5 ユニット再起動

電源を再投入することなくれんら君を再起動させることができます。

7-2-6 ユニット登録メール一覧

れんら君に登録されているメールの一覧です。メールは番号をつけて管理されています。メールは”mfw101.eml”のように管理されています。メール管理番号の表示の右にある数字はメールのバイト数を表示しています。メールの管理番号の対応は次のようになります。

れんら君設定ソフトで作成、登録されるメールは設定ソフト内でメール番号をつけて管理されています。

メール番号管理表

UNC-RP42 (TypeA41)

	チャンネル0 設定メール	チャンネル1 設定メール
下限値	MFW101. EML - MFW102. EML	MFW111. EML - MFW112. EML
上限値	MFW401. EML - MFW402. EML	MFW411. EML - MFW412. EML
上限値以上・下限値以下	MFW701. EML - MFW702. EML	MFW711. EML - MFW712. EML
定時通報	MFW801. EML - MFW802. EML	MFW811. EML - MFW812. EML

7-2-7 ユニット登録メール読み出し

ユニットに登録されているメールを読み出すことができます。この項目をクリックしたときボックス表示が出てきます。メール管理番号を参照にダブルクリックするとメール内容を参照できます。

7-2-8 ユニット登録メール全削除

れんら君に設定されているメールデータを一括削除できます。

7-2-9 Analog れんら君測定データ読み出し

各チャンネルの測定データを読み出すことができます。
ただし、読み出すためには次の条件があります。

- ・ 「ユニット定時動作条件」で「読み出し保存可否」のチェックマークをはずしていること
- ・ 「読み出し保存可否」の項目で「直近の読み出しデータ保存数」を設定していること
- ・ 3種のいずれかの平均化処理が選択されかつ「データ収集時間間隔」以上の時間が経過していること

もしも、エラーがあると、「-ERR」と表示されます。また、平均化処理をしていないデータを読み出したいときは、平均化処理の回数設定で”1”に設定してください。

8 れんら君探索

LANに接続されているれんら君を探索し IP アドレスを表示します。

8-1-1 呼び出し

LANに接続されているれんら君を探索します。クリックするとパソコンの IP アドレス一覧が出てきますのでれんら君と同じネットワークに所属する IP アドレスをダブルクリックします。するとダイアログが出てきてれんら君を探索します。一連の流れは「[3 れんら君管理ツール](#)」を参照ください。

8-1-2 応答一覧表示

れんら君が探索できたらこの項目を使ってれんら君の IP アドレスを表示します。れんら君の IP アドレスをクリックするとそのれんら君に対してユニット状態の読み出し等の操作が行えます。れんら君の設定画面を表示するには「7-3-4 ブラウザ」の項目のブラウザを選択します。お使いになれるものをダブルクリックすればそのブラウザが立ち上がりれんら君の設定が出来ます。一連の流れは「3 れんら君管理ツール」を参照ください。

8-1-3 NIC 情報表示

パソコンの NIC 情報を表示します。これは、パソコンに設定されている LAN の IP アドレス情報になります。

8-1-4 ブラウザ

れんら君管理ツールから設定画面を開くブラウザは 4 種あります。「firefox」「chrome」「safari」「IE」が該当し、いずれかをクリックすればそのブラウザが立ち上がりれんら君設定画面の表示になります。ただし、パソコンにインストールされていないブラウザを選択すると「応答れんら君 HTTP 接続実行結果エラー (0)が発生しました。」と出てきてれんら君設定の画面は出てきません。

ブラウザは 4 種から選択できますが、もしもそのほかのブラウザを選択なさるときはそのブラウザでれんら君の IP アドレスを設定してください。「http://192.168.5.1」などになり、れんら君の「応答一覧表示」に示される IP アドレスを打ち込んでいただくとれんら君の設定画面が開きます。

8-2 ヘルプ

ヘルプ情報やれんら君管理ツールのバージョン情報になります。

8-2-1 ヘルプ

れんら君管理ツールで出来ることが一覧表示されます。

8-2-2 バージョン情報

れんら君管理ツールのバージョン情報になります。

9 れんら君に接続できないときには

まず次のことを確認してください。

- (1) 本製品のPWR_LEDが点灯していること。
- (2) 本製品の電源電圧が20.4～27.6Vの範囲にあること。
- (3) 配線、接続が確実であること。
- (4) IPアドレス設定が正確であること、他の機器と重複していないこと。

以下の症状別チェックリストを点検後、不具合を修正し本製品を再起動してください。

9-1 症状別チェックリスト

症状	チェック項目
LANコネクタの緑LEDが消灯したまま変化しない。 PWR_LEDが消灯したまま変化しない。	<ul style="list-style-type: none">● LANケーブルが正しく接続されているか。● 電源が投入されているか。
LANコネクタの緑LEDが点灯または点滅しているが、PWR_LEDが赤と緑の交互点滅している。	<ul style="list-style-type: none">● 本製品のIPアドレスと同じアドレスを持っている機器が同じネットワーク内に接続されていないか。● LANケーブルが正しく配線されているか。● 電源ケーブル、電源が正しく配線, 設定されているか。 周囲にノイズを発生させる機器がある場合は、HUBや通信ケーブルにノイズ対策を行ってください。● メール設定やネットワーク設定が正しいか。
センサー信号を入力しているがメールが送信されない。	<ul style="list-style-type: none">● STAT_LEDが緑点灯していないか。消灯時は状態監視解除中。● 入力LEDが点灯するか。● LANケーブルが正しく配線されているか。● 電源ケーブル、電源が正しく配線, 設定されているか。● メール設定やネットワーク設定が正しいか。
LED表示は正しいが、パソコンかられんら君が確認できない。	<ul style="list-style-type: none">● ファイアウォールソフトがれんら君との接続を禁じていないか。● pingコマンドでれんら君のIPアドレスを確認できないか。 pingコマンドでれんら君のIPアドレスを確認できないときは、ファイアウォールソフトや、サブネットマスクの設定、IPアドレスのネットワーク部の不一致などが考えられます。

症状	チェック項目
れんら君管理ツールから監視条件やメールデータを読み込むことが出来ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラウザからアクセスしたれんら君の設定画面TOPページで「TFTPS」ボタンをクリックしていないか。れんら君管理ツールで「ユニット動作表示」の「接続・モニタ」をクリックしていないか。 ● ファイアウォールソフトがPortの通信制限をしていないか。 ● れんら君と管理ツールが接続していない場合や、読み書きするための通信が出来ていない場合が考えられます。
れんら君管理ツールから監視条件やメールデータを書き込むことが出来ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラウザからアクセスしたれんら君の設定画面TOPページで「TFTPS」ボタンをクリックしていないか。れんら君管理ツールで「ユニット動作表示」の「接続・モニタ」をクリックしていないか。 ● ファイアウォールソフトがPortの通信制限をしていないか。 ● れんら君と管理ツールが接続していない場合や、読み書きするための通信が出来ていない場合が考えられます。
れんら君管理ツールから監視条件やメールデータを読み込もうとしたらTFTPS****（*は数字）の名称のファイルが出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラウザからアクセスしたれんら君の設定画面TOPページで「TFTPS」ボタンをクリックしていないか。れんら君管理ツールで「ユニット動作表示」の「接続・モニタ」をクリックしていないか。 ● ファイアウォールソフトがPortの通信制限をしていないか。 ● れんら君と管理ツールが接続していない場合や、読み書きするための通信が出来ていない場合が考えられます。 ● VISTA以降のWindowsでは、初期設定では「tftp」が動作不許可設定になっています。「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windowsの機能の有効化または無効化」で「TFTPクライアント」を有効にしてください。
Gmailを設定してもメール送信が出来ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Gmailの仕様が2016年6月17日に変更されました。それにより暗号スイートは256ビット必須となりました。本製品は暗号128ビットまでしか対応していませんのでGmailが使えなくなりました。Yahoo!メールを利用してください。

NKE株式会社 [旧社名(株)中村機器エンジニアリング]

商品に関するご質問は、フリーダイヤル、もしくはE-メールにてお問い合わせください。
(AM. 9:00~PM. 5:00 土日、祝祭日休み)

 **0120-77-2018**
 **promotion@nke.co.jp**

- NKE 伏見工場 〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町 366-1 TEL 075-931-2731(代) FAX 075-934-8746
 - NKE ホームページ : <http://www.nke.co.jp/>
 - お断りなくこの資料の記載内容を変更することがありますのでご了承ください。
- ©2017 NKE Corporation